

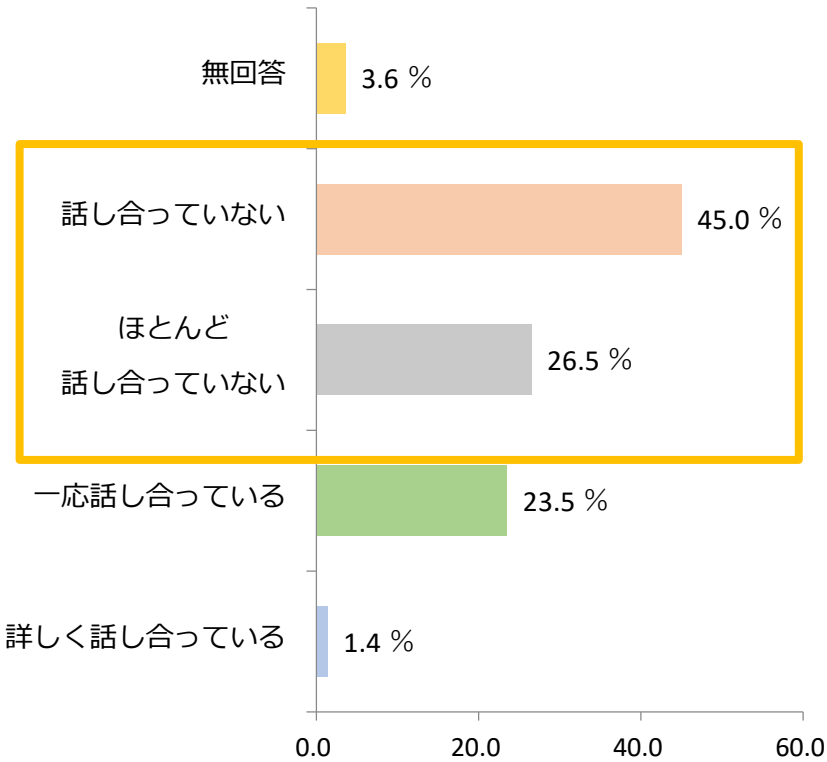
練馬区在宅療養推進事業（令和6年度～令和8年度）
ACP普及啓発事業（案）について

1 練馬区におけるACPの現状（区民）

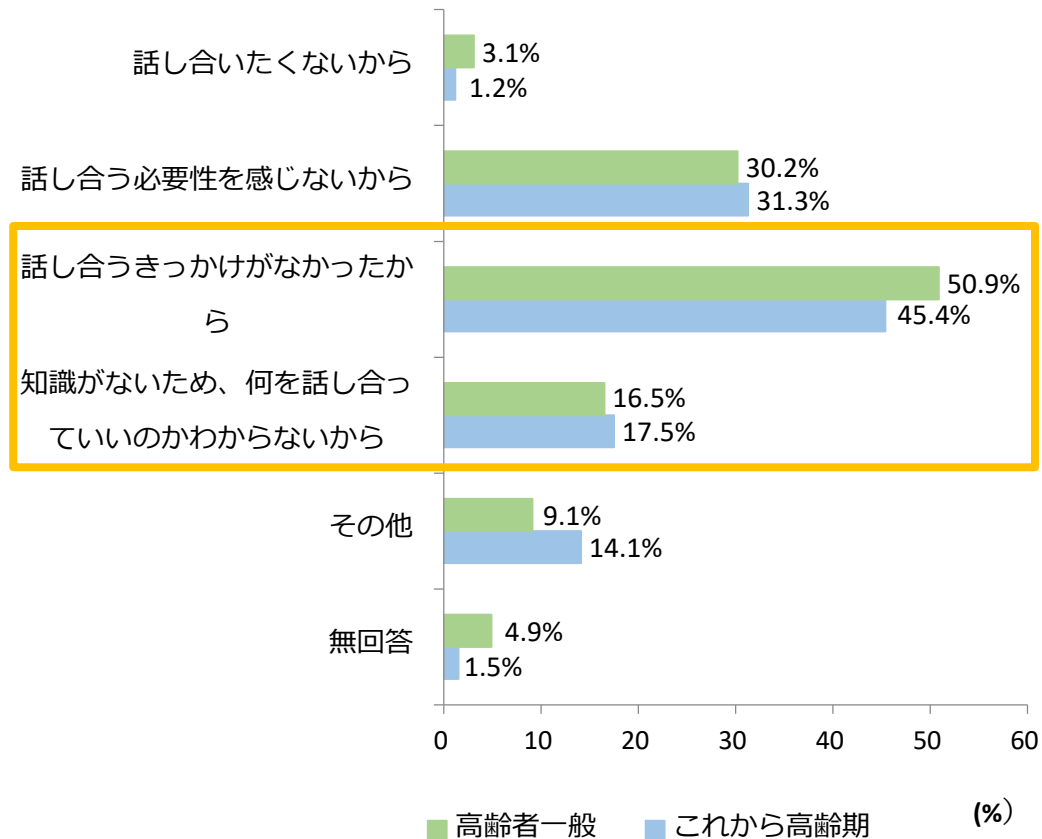
練馬区高齢者基礎調査等報告書（令和5年3月発行）より

人生の最終段階における医療・ケアについて

■ 家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況



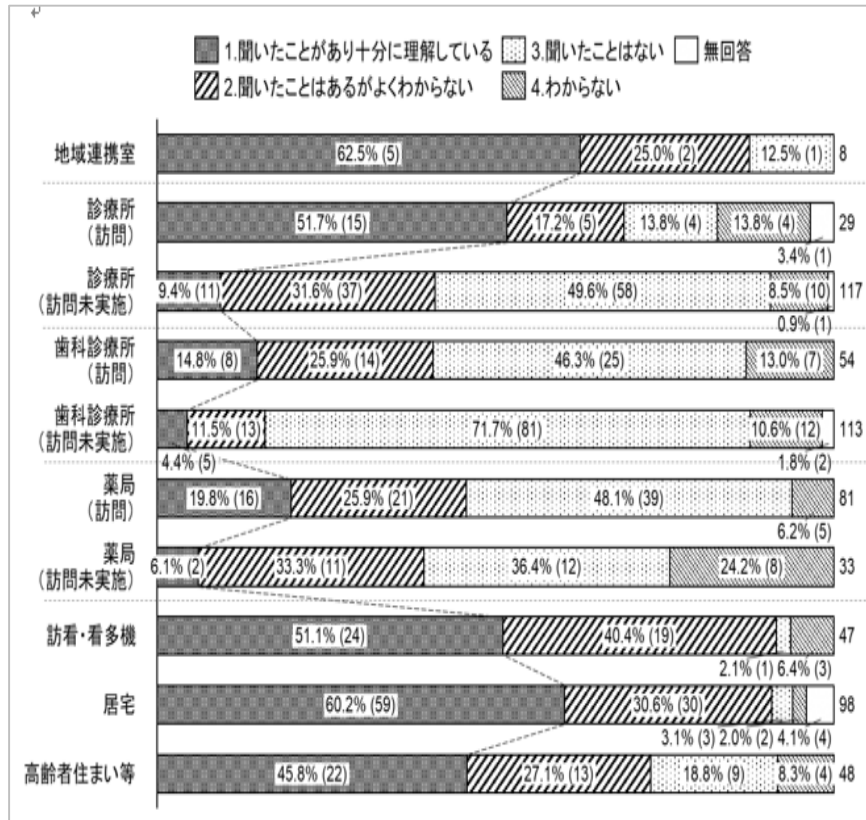
■ 話し合ったことがない理由



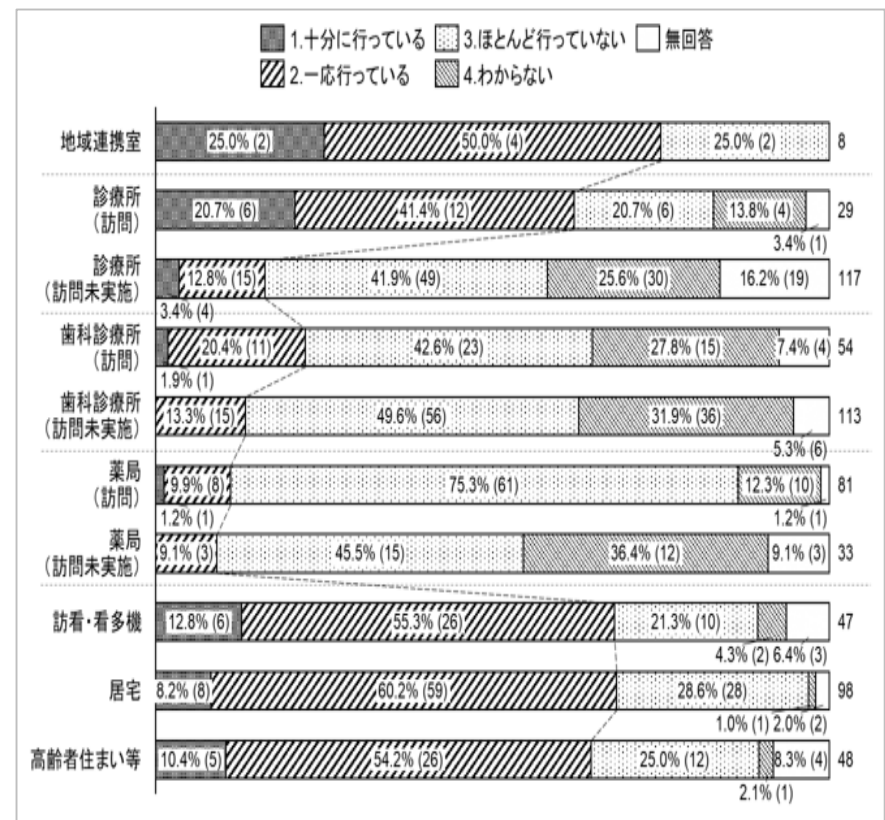
1 練馬区におけるACPの現状(専門職)

令和4年度 練馬区医療・介護資源調査報告書より

■ ACP（人生会議）という言葉の認知度



■ 人生の最終段階における医療・ケアについての話し合いの患者（利用者）との実施状況



令和4年度定性ヒアリング調査（報告書）より

- ・ ACPの解釈は専門職の中でも様々であることが分かった。
- ・ ACPの解釈について、専門職内で共通認識していないと、一体的な関わりが進まないのではないかという意見が多数あった。

2 今後の事業の方向性について

令和4年度調査で見えた課題

区民：ACPの実施状況は低い。実施していない理由では、きっかけがない・知らないが多い。

専門職：ACPの実施状況は3年前と比べて横ばい。ACPの認識も様々。

取組の方向性

ACPを進めていくためには、ACPの主役である区民とそれを支える専門職、両方への周知啓発が必要。

【区民向け事業】

- ・ ACPを知る、実施するきっかけづくりの提供。

【専門職向け事業】

- ・ ACPの共通認識を図り、実施のための実践的な研修会。



3 区民向けのACP事業案について

●目指す姿

ACP（人生会議）を聞いたことがあって、一回はやったことがある

●やり方

まずは実施するきっかけづくり・入口をたくさん作る

●メインターゲット

はじめるきっかけがない・やり方が分からないと思っている人

導入 チェックシート式

ACP導入としてチェックシートを提供。
ACPの入口に立つところを後押しをする環境を作る。
発信する内容は統一し、様々な場面を通して、ACPに触れる機会を増やし、きっかけづくりの提供を行う。

媒体 ※掲載内容を統一

新 ① チェックシート	新 119 あんしんシート	新 HP アップ +あんしんシート	わが家で 生きる (①を掲載) +あんしんシート	はつらつ 手帳 (①を掲載)
--------------------------	----------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	----------------------

場面 ※区施設以外にも拡大、ACP+あんしんシートをセットで周知

新 終活支援	新 在宅療養 講演会 DVD貸出し 事業	在宅療養 講演会	出張講座	施設等での配布 ※区立施設、 消防、その他
------------------	---	-------------	------	-----------------------------

ステップアップ 自由記載式

ACPを実施したことがある・書くことのイメージがついている方は、東京都発行の「わたしの思い手帳」を勧める。
※チェックシートにも「わたしの思い手帳」を掲載。

媒体



チェックシート案（イメージ）

表面

アドバンス・ケア・プランニング【ACP】シート

自分が何を大切にしているのか、どんな医療や介護を受けたい・受けたくないと思っているのかをご自身で考え、大切な人や周りの人と共有し、繰り返し話し合っていくことをアドバンス・ケア・プランニング（ACP／「人生会議」）といいます。
このシートは、ご自身が大切にしていることや、ふだんの生活の中にある「動く・食べる・話す」ことを中心に考えていただく内容となっています。まずはチェックしてみましょう。
もし、もっと書きたいことがあったら、東京都発行の「わたしの思い手帳」を使ってください。

練馬区地域医療課

始めるのは、いつでもよいです。
誰もがいつ、体調を崩すか分かりません。誰がいつ、始めても構いません。誰がいつ、始めても構いません。今から考えて、話しておくことで、ご自身の不安軽減、周りの方の負担軽減につながります。

何度でもいつでも、書き直すことができます。
法的な意味合いも拘束力もありません。体調や環境の変化で人の気持ちは変わるものです。明日、変わっていいのです。何度でもいつでも書き直せます。

※ACPについて、詳しくは、区ホームページなどをご覧ください。

QR

記入日 年 月 日 お名前

1) あなたにとって、ふだんの生活の中でまたは生きていく上で、大切にしていること・大切にしたいことは？ ※複数回答可

<input type="checkbox"/> 家族や友人のそばにいたいこと	<input type="checkbox"/> 仕事や家での役割りなど続けられること
<input type="checkbox"/> 身の回りのことが自分でできること	<input type="checkbox"/> できる限り治療を受けられること
<input type="checkbox"/> 家族の負担にならないこと	<input type="checkbox"/> 痛みや苦しみが少ないこと
<input type="checkbox"/> 趣味など好きなことを続けられること	<input type="checkbox"/> その他

選んだ理由を考えてみましょう。もしくはもっと具体的な内容を書いてみましょう。

※ 1) で答えた中で、自分にとって特に大切なことがあれば、◎をつけておきましょう。

2) もしあなたが医療や介護を継続的に受けるようになったことを考えてみましょう。
“こんな医療や介護を受けたいな” “こんな医療や介護は受けたくないな”
“こんな風に過ごしたいな” “こんな風に過ごすのはいやだな”と思うことはありますか？
※ご自身や周りの方の経験、またはテレビなどの場面を通して感じたことなどを参考にしてみてください。

思ったことを自由に書いてみましょう。箇条書きなどもOKです。

裏面へ→

裏面

3) もしもあなたが自分で自分の身の回りのことができなくなったら、どう過ごしたいですか？

<input type="checkbox"/> 自宅で医療や介護を受けながら過ごしたい	選んだ理由
<input type="checkbox"/> 自宅で過ごしたいが、状況によっては施設でも構わない	
<input type="checkbox"/> 老人ホームなど施設に入りたい	
<input type="checkbox"/> 分からない	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

4) もしもあなたが口から食事をとることができなくなったら、どう過ごしたいですか？

<input type="checkbox"/> 胃瘻(おなかに穴をあけて胃に直接栄養を送る方法)や経鼻栄養(鼻から管を通して胃腸へ栄養を送る方法)などを使ってほしい	選んだ理由
<input type="checkbox"/> 食べられなくなったら、そのまま様子を見てほしい	
<input type="checkbox"/> 分からない	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

5) もしもあなたが病状などにより、自分の考えが伝えられなくなったら、あなたの代わりに、医療介護関係者とあなたの治療や介護についての話し合いをお願いできる方はいませんか？

<input type="checkbox"/> 頼める方がある	<input type="checkbox"/> 頼める方がいない
----------------------------------	-----------------------------------

具体的なお名前と関係性を記入してください。(複数可)

氏名 _____ (ご関係)	()	(頼みたい理由)
氏名 _____ (ご関係)	()	(頼みたい理由)

その方に、あなたの代わりに、あなたの治療や介護についての話し合いに参加してほしいことを、直接伝えていきますか？

<input type="checkbox"/> 伝えている	<input type="checkbox"/> 伝えていない
--------------------------------	---------------------------------

6) もしもあなたが病状が悪化して、自分の考えが伝えられなくなったら、お看取りの時期が近くなったとき、どう過ごしたいですか？

<input type="checkbox"/> 可能な限り治療を受けて、できるだけ長生きしたい	選んだ理由
<input type="checkbox"/> 命が短くなる可能性があるが、治療は受けたくない	
<input type="checkbox"/> 分からない	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

7) もしもあなたが病状が悪化して、自分の考えが伝えられなくなったら、お看取りの時期が近くなったとき、どこで過ごしたいですか？

<input type="checkbox"/> 病院	選んだ理由
<input type="checkbox"/> 自宅	
<input type="checkbox"/> 施設	
<input type="checkbox"/> その他 ()	

8) もしもあなたが病状が悪化して、自分の考えが伝えられなくなったら、延命治療を希望しますか？
延命治療とは、心臓マッサージをしたり、人工呼吸器をつけることをいいます。

<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	<input type="checkbox"/> 分からない
-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

※全部を埋めなくても構いません。書ける範囲でご記入ください。書いた大切な人にお伝えください。

- ・ A4両面刷り
- ・ 当てはまるものをチェックする形式（自由記述欄もあり）

3 区民向けのACP事業案について（講演会DVD貸出事業について）

現在実施している図書館後日上映会の拡大バージョンとして、町会や老人クラブなど区内団体の自主上映会を支援する事業として実施。DVD貸し出しと合わせて、ACPチェックリストシート（または「わが家で生きる」）を配布し、ACP周知啓発の機会とする。

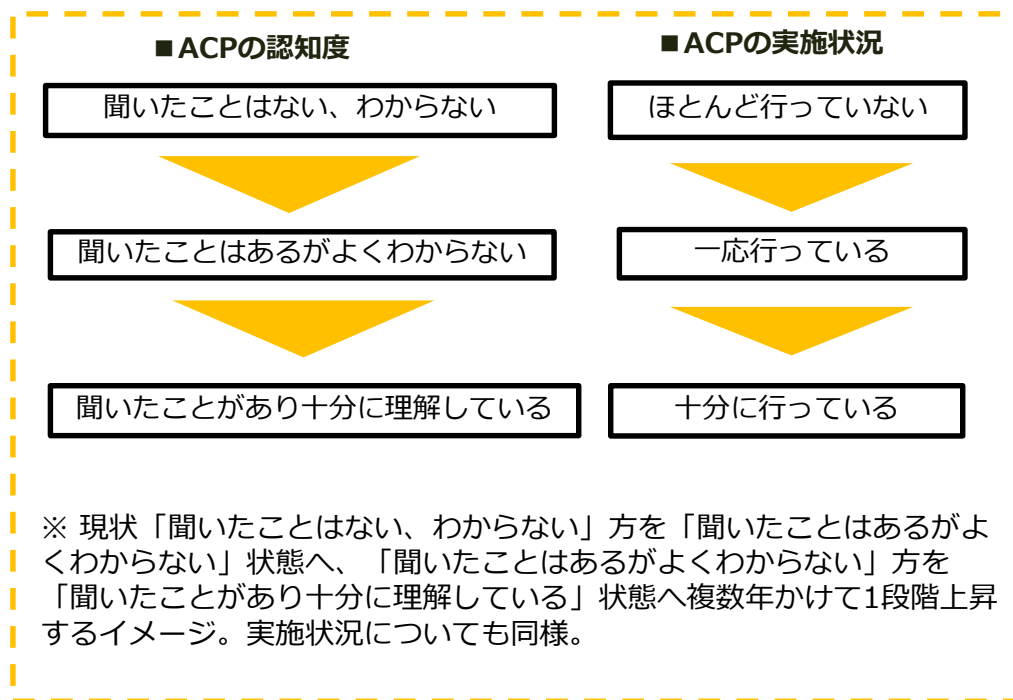
【在宅療養講演会DVD貸し出し事業（案）】

- 目的：在宅療養とACPの周知
- 対象：区内の団体（町会、老人クラブ、事業所など）
- 申し込み条件：
 - ① 人数は10人以上目安
 - ② 会場・DVD再生機器を準備できること
 - ③ 会の運営は団体が行うこと
 - ④ 実施日時は平日の9時から17時であること ※職員派遣希望しない場合はいつでも可
- 注意事項
 - ・ 職員派遣希望の場合は1か月以上前に申込を行うこと
 - ・ DVDのみの場合は2週間以上前に申込を行うこと
 - ・ 申し込みはWEBまたはFAX。

4 専門職向けのACP事業案について

●目指す姿

令和4年度医療・介護資源調査から、認知度、実施状況ともに1段階上昇



●メインターゲット

ACPを知らない、知っているが実践していない 区内医療介護専門職
(職種問わず)

●やり方

基本的な内容のACP勉強会（基礎編、実践編）の開催

ACP勉強会（案）について

●基礎編

ACPについて基本的な知識を身に着けることを目的とした講義形式。開催は年1回予定。YouTube等のアーカイブを利用し、一定期間の受講機会を設けることを検討。

●実践編

模擬的なACPの実践、アプローチ方法の習得を目的とした、ロールプレイ等を行うグループワーク形式。対面により、2回実施予定。

※ 原則、実践編への参加は基礎編の受講を必須とする。

イメージ

